

ひょう ちょう
兵 部 町

今井兵部にちなみ町名

中世に環濠集落「今井町」を造るため尽力した、一向宗徒で同町有力者の「今井兵部」にちなんだ地名です。

明治二二年の市町村制施行に伴い今井町と小綱村が合併して、新しい自治体の今井町が発足しています。発足当初に「今井」と「小綱」の二大字だったのが、鉄道開通（近鉄橿原線）で東西に分けられていた町の東部を、昭和一五年に大字「兵部」として三大字となります。昭和一二年に実施されていた「今井都市計画」で、この大字・兵部に住宅建設が行われます。そして、この今井町が近隣六か町村と共に昭和三一年、橿原市を発足させ今井・小綱・兵部の現三町が生まれました。

隣接する四条町に昭和二〇年、県立医学専門学校が創設されます。これが現在の県立医科大学へ発展し同大学付属病院も設置されます。病院正門前に当たる兵部町に商店・飲食店などが立ち並び現在の町景観が整いました。

町の東北側を飛鳥川が湾曲しながら流れています。両岸堤防に桜の古木が立ち並んでおり春になると、桜のトンネルを形成して多くの市民や観光客を集めています。

かつて飛鳥川の清流に屋形船が行き交い、船上からの花見やアユ釣りを楽しませたといいことです。